熊本県有明海区漁業調整委員会

第528回議事録

令和7年（2025年）4月1日開催

第528回熊本県有明海区漁業調整委員会議事録

開催日時 令和7年(2025年)4月1日(火)午後10時30分から

開催場所 県庁 防災センター 102会議室

出席者

(出席委員) 西川幸一 橋本孝 浜口多美雄 廣田義治 藤森隆美 吉本勢治 木村武志 小森田智大 佐小田眞智子 八塚夏樹

(水産振興課) 課長補佐 松尾竜生

(事務局) 事務局長(課長補佐) 石動谷篤嗣 主幹 堀田英一 主幹 宗達郎
参事 徳留剛彦 技師 寺嶋卓海

議 事

(1) 議題

第1号議案

熊本県有明海区漁業調整委員会の会長及び副会長の互選について(諮問)

第2号議案

熊本県連合海区漁業調整委員会の委員の選出について

事務局

それでは、定刻になりましたので、第528回熊本県有明海区漁業調整委員会を開催いたします。

開催に当たり事務局から御報告いたします。

海区漁業調整委員会規程第5条に「委員会は、委員の定数の過半数以上の委員が出席しなければ会議を開くことができない」と規定されておりますが、本日の委員の出席者数は10名中10名で、過半数に達しておりますので、委員会が成立していることを御報告いたします。

委員の皆様は、正面に向かって右側に漁業者委員の皆様を、左側に学識経験委員と中立委員の皆様を配席させて頂き、過去の委員の任期数も合わせまして、任期の多い委員の方々から配席させていただいております。任期数が同数の場合は、お名前の五十音順で配席させていただきますので、ご了承ください。

この後、当委員会の会長及び副会長をお決めいただきましたら、それに伴い、お席を移動していただきますので、よろしくお願いいたします。

議事に入ります前に、資料の確認をさせていただきます。

「第528回熊本県有明海区漁業調整委員会次第」という資料を1部と海区漁業調整委員会規定という資料を1部配付させていただいております。過不足等ありませんでしょうか。

委員

はい。

事務局

ありがとうございます。

それでは、海区漁業調整委員会規程第4条第1項に、会議の議長には、会長があたると規定されていますが、同規定第2条第2項に基づく、会長及び副会長を互選がすんでおりません。

会長、副会長が不在の時は、海区漁業調整委員会規程第4条第3項に、出席委員の中で最年長の者がこれにあたとあります。

このため、浜口委員に議長をお願い致します。

それでは浜口委員は、議長席に御移動いただき、今後の議事の進行をお願いいたします。

議長

ただいま御指名いただきました浜口です。

新会長が決定するまでの間、議長の職務を務めさせていただきますので、スムーズな議事の進行にご協力いただきますよう、よろしくお願い致します。

議事に入ります前に、「海区漁業調整委員会規程」第10条で定められております議事録署名人につきましては、本日は、吉本委員と木村委員にお願いしたいと思います。

それでは、第1号議案「会長及び副会長の互選について」ですが、互選の方法について、事務局から説明をお願いします。

事務局

海区漁業調整委員会規程第2条第2項に、会長及び副会長は、委員が互選すると規定されています。互選の方法につきましては、委員による協議又は投票による方法がございますが、どちらの方法を選ばれるかは委員の皆様にお決めいただきます。

協議による場合は、委員の皆様が協議して決めていただきます。

投票による場合は、自薦又は他薦により、候補者を特定した上で、全ての委員に無記名で投票していただくことを考えております。

なお、他薦につきましては、推薦を受けたご本人が、候補者となることを承諾していただく必要があります。

事務局からの説明は以上です。

議長

会長及び副会長の互選の方法については、ただいまの事務局からの説明でよろしいでしょうか。

委員

はい。

藤森委員	本人が納得していれば今までどおり、会長に橋本委員、副会長に吉本委員でないのではないですか。
議長	ただいま、会長に橋本委員、副会長に吉本委員を推薦するご意見がありました。橋本委員と吉本委員はご承諾いただけますか。
橋本委員	はい。
吉本委員	はい。
議長	それでは、会長に橋本委員、副会長に吉本委員ということで、承認いただけますでしょうか。
委員	異議なし。
議長	異議ないようですので、橋本委員が、熊本県有明海区漁業調整委員会の会長に、吉本委員が副会長に決定しました。 これで、私の職務は終了しました。議事の進行にご協力いただきありがとうございました。
事務局	浜口委員ありがとうございました。それでは、橋本委員と吉本委員にはそれぞれ、お席の移動をお願いします。 第2号議案に入ります前に、橋本会長と吉本副会長にご挨拶をお願いしたいと思います。
会長	昨年に引き続き、継続して会長を務める橋本です。 これから4年間よろしくお願いします。
事務局	ありがとうございました。 吉本副会長、よろしくお願いします。
副会長	吉本です。忌憚のない意見を言っていただき、この海が豊穡の海になるように頑張っていきます。
事務局	ありがとうございました。 それでは、今後の議事の進行を橋本会長にお願いします。

議長 それでは、第2号議案「熊本県連合海区漁業調整委員会委員の選出について」協議したいと思います。
 協議に先立ち、熊本県連合海区漁業調整委員会の委員について、事務局から説明をお願いします。

事務局 「熊本県連合海区漁業調整委員会規程」をご覧ください。
 第2条に、この連合委員会は漁業法第147条第4項の規定に基づき、熊本県有明海区漁業調整委員会及び天草不知火海区漁業調整委員会の海区を合わせた海区に設置するという規定がございます。
 また、同規定第3条の規定には、その構成は、それぞれの海区の委員会の委員をもって組織し、委員の定数は各海区の4人の総数8人とすると規定されています。
 各海区から選出される4人の内訳としましては、慣例ではございますが、漁業者委員から3人、学識経験委員から1人で、その中には各海区の会長及び副会長を含むということで、従来、海区委員会の会長及び副会長は連合海区の委員となっていたいておりました。
 これからは、事務局からのご提案ではございますが、今回、熊本県有明海区の会長には、漁業者委員の橋本委員が就任され、副会長には漁業者委員の吉本委員が就任されましたので、橋本会長と吉本副会長を、連合海区の委員に選出していただき、残り2人につきまして、選出いただければと思います。

議長 ただいま、事務局から説明がありました。慣例により会長及び副会長は、連合海区の委員に選出し、残り2人を選出するというところでよろしいでしょうか。

委員 異議なし。

議長 それでは、連合海区に選出する残り2人の委員を選出する方法について、事務局から説明をお願いします。

事務局 選出方法につきましては、委員の皆様でお決めいただきたいと思いますが、方法としましては、協議でお決めいただくか、投票によりお決めいただく方法が考えられます。

委員 それなら、漁業者委員を藤森委員、学識経験者の委員を木村委員ではいかがでしょうか。

議長 漁業者委員を藤森委員、学識経験者の委員を木村委員と発言がございましたが、いかがでしょうか。

委員 異議なし。

議長 異議なしということですので、藤森委員と木村委員は承諾いただけますか。

藤森委員 はい。

木村委員 はい。

議長 ありがとうございます。熊本県有明海区漁業調整委員会からは、熊本県連合海区漁業調整委員会の委員として、橋本委員、吉本委員、藤森委員、木村委員の4人を委員として選出したいと思います。よろしいでしょうか。

委員 はい。

議長 ありがとうございます。
それでは、全会一致ということで、承認いたします。

議長 本日、事務局が用意した議事は以上ですが、委員の皆様から何かございませんか。

委員 特になし。

議長 事務局から、何かありませんか。

事務局 御審議いただきありがとうございました。
熊本県有明海区漁業調整委員会の会長及び副会長に御就任いただきました、橋本委員と吉本委員におかれましては、今後ともよろしく願います。
また、熊本県連合海区漁業調整委員会の委員として選出されました、橋本委員、吉本委員、藤森委員、木村委員におかれましても、よろしく願います。
なお、連合海区の委員に選出されました4人の委員の皆様におかれましては、本日、午後1時より、この会場におきまして、第21回熊本県連合

海区漁業調整委員会を開催いたしますので、御出席いただきますようお願い申し上げます。

議長

他に何かございませんか。

委員

特になし。

議長

なければ、これで第528回熊本県有明海区漁業調整委員会を閉会します。